

令和6年9月30日

那珂市の「青少年の主張」発表大会に2年生の近江結さんが出場しました。

9月28日（土）午前、那珂市総合センター「らぼーる」で、令和6年度「青少年の主張」発表大会並びに表彰式典（主催：青少年育成那珂市民会議）が開催されました。

この大会は、那珂市の5つの中学校、水戸農業高校、那珂高校の各校の代表生徒、那珂市消防本部の代表署員が出場して、青少年が日常生活で感じたことや考えていることを広く市民に訴える場として、毎年開催されています。今年度は、中学生10名、高校生2名、消防署員2名が参加しました。

那珂高校からは、2年生の近江結さんが出場しました。近江さんは、「16歳の私が思うこと」と題して、「自分自身が学校の先生に悩みを聞いてもらい、勇気づけられたように、将来は、子どもの気持ちに寄り添える先生になりたい。また、生徒会長として、生徒会役員、先生方、生徒と協力して、那珂高校の生徒がより楽しく、充実した高校生活が過ごせるようがんばっていきたい」と堂々と発表しました。

中高生の発表は、高齢化社会、中学生になって思ったこと、自己分析、人権、ジェンダー平等、SDGs、祖父への思い、自然環境の保全、人間と動物の共生、マスコミ報道、平和、戦争、将来の希望などがありました。

発表者は、自分で調べたことや体験したことをふまえて、自分の考えや思いを、真剣なまなざしでしっかりと発表しました。大勢の聴衆が、若い世代の意見に共感や感銘するとともに、感動や勇気をもたらしました。



開会行事



近江さんの発表の様子



表彰式典



近江さんと田中先生（引率）